**監査員力量認定用CDPシート（セル幅、体裁など記入しやすいよう自由に変更してください）**

**（保存/フォーム添付時はPDF形式）**

|  |  |
| --- | --- |
| **お名前：** | **発行済みの認定番号：** |

**シート記入時の注意点（詳細はHRM-CPD-rev05：「継続的能力の開発」及び「力量認定の更新」規定を参照）**

本シートは「自らの力量を維持/向上するために実施した活動」及び「その成果」を自らの文章で記録することを繰り返して自身の能力開発を積極的に行い継続的力量の維持すること、またそのログに基づいて第三者への力量の維持/向上を実証することを目的としています。

　　・どのような目的をもって各活動に取り組んだかを記述してください

　　・力量の維持/向上を実証するための具体的な内容を記述してください

　　　（学んだ知識/技術/知見/経験などを含み、目的と合致した部分に絞り記述する）

　　・以下に継続的力量認定として認められない具体的内容に乏しい事例を示します

　　　　　→ ○○について学んだ、○○セミナーに参加した、など学習テーマやキーワードのみの記述

　　　　　→ ○○を実施した、○○を作成した、など活動末端の内容のみの記述

　　　　　→ 過去に提出したD-C-A記録と同一/類似内容のみの記述

監査員視点とは異なるがマネジメントシステムやQA視点に含まれる活動がある場合「その他、特記すべき学習及び能力開発のテーマ」へ記入をしてください。

**・力量維持活動の記録（合計で2セル以上を記録すること）**

**化粧品GMP/ISO22716の監査員視点からの活動や習得内容の要点、積み上げられた力量、気付き/可視化された問題点、活動や習得を受け新たに設定することなど、テーマに分けて記録する（各セルは500字以内程度にまとめること）**

|  |
| --- |
| **記入例　学習及び能力開発のテーマ-1：**  |
| **活動Plan：自社品質保証活動に基づく内部監査システムの再構築と監査実施**　現状で十分に機能していない内部監査についてシステムから見直しを行い、○○月に実際の監査を実施した。内部監査ではICARとして重大2件報告、軽微4件報告。その全ての是正計画案は指定期日以内に確認した。　見直しにより監査SOPの改定を順次行い、監査そのものの目的が会社全体で事前共有されたことが最も大きな成果であったと考える。また、トップマネジメント意志と現場認識の乖離が明確化されたため、翌年度以降の品質目標について具体的な落とし込みを行う際の情報となった。現状で監査員が不足しており一部自分が担当している実務を内部監査対象範囲に含めることが出来ていない。これは来年以降の課題であり、監査員養成を自社内で計画的に進める必要性を考える。 |
| **学習及び能力開発のテーマ-1：** |
|  |
| **学習及び能力開発のテーマ-2：** |
|  |
| **学習及び能力開発のテーマ-3：** |
|  |
| **記入例　その他、特記すべき学習及び能力開発のテーマ（体裁は自由、時間軸の記録を推奨）** |
| **例-1：外部セミナー参加（3h）**○○学会の△△セミナー「PIC/S GMPにおける汚染管理戦略の進め方」に参加××年××月××日 会場：XXXXXレジュメを別途添付受講目的：受講内容：気付き：**例-2：自己学習（クリーンルームの構造理解/ISO14644-1、5h）**目的：微生物管理を関連付けてクリーンルームの構造理解を深める内容：気付き：フィードバック： |
| **その他、特記すべき学習及び能力開発のテーマ（体裁は自由、時間軸の記録を推奨）** |
|  |

**・本シート作成日**

|  |
| --- |
|  |

**PDF形式により保存、申請フォームから添付を行ってください**

**以上**